

脳卒中のリハビリテーション

脳卒中のリハビリテーション(リハビリ)は、一般的には、急性期・回復期・生活期に分けられます。

リハビリは誰がするの？

理学療法士

理学療法の目的は、脳卒中の患者さんの基礎的な体力を向上させ、自分で移動できるようになることです。

具体的には、筋力のトレーニングや歩行練習を行います。



作業療法士

作業療法の目的は、脳卒中の患者さんが日常生活動作ができるようになり、「その人らしい生活」を送れるようになることです。

具体的には、手の練習や生活に必要な動作練習、記憶力や判断力などについてリハビリを行います。

言語聴覚士

言葉聴覚療法の目的は、脳卒中の患者さんが言語機能や食事に関する困難を克服し、良好な意思疎通を図れるようになることです。

具体的には発声練習や飲み込みの練習を行います。

急性期のリハビリとは？

脳卒中の治療を行う最初の段階であり、患者さんの体調に合わせてます。急性期のリハビリで座位練習や起立練習を行い、徐々にベッドから起きる時間を増やしていくことが大切です。



ベッドから起きる練習



車椅子へ座る練習

回復期のリハビリとは？

患者さんができるだけ普通の生活に戻れるよう、歩く練習や日常生活における動作の練習を行います。

患者さんや家族の協力も大切で、みんなで力を合わせて回復を目指します。



歩行練習

必要に応じて、杖や歩行器などの歩行補助具を使用して練習します。



言語の練習

発声や発話などの練習をし、コミュニケーション手段の獲得を図ります。



日常生活動作練習

トイレ動作や更衣動作など生活に必要な動作を練習します。

生活期のリハビリとは？

生活期のリハビリは、患者さんが脳卒中の治療終了後も機能を維持し、生活を営むために必要な動作の練習をします。



筋力・体力増強練習

生活を送る上で必要な筋力や体力の維持・向上を図っていきます。



家事動作練習

生活を送る上で必要な家事動作の練習を必要であれば福祉用具などを使用して行っていきます。



飲み込みの評価や食形態の検討

誤嚥や肺炎のリスクの軽減のため、必要に応じて飲み込みの状態を確認したり、食形態の検討を行います。

多職種連携によるリハビリ

脳卒中のリハビリは、リハビリ専門職だけではなく、医師、看護師、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカーなどの異なる職種が協力して、患者さんができるだけ多くの面で回復できるように総合的なアプローチを行なっていきます。

リハビリは患者さん、ご家族だけで行うものではありません。ご気軽にスタッフまでご相談ください。

